

第5回 アドホック会議(OASIS/PPSTC ジョイント)議事録 (ものづくり APS 推進機構 PSLX フォーラム)

日時：2007年4月23日(金) 13:00~18:00

場所：製造科学技術センター (MSTC) 第一会議室

出席者 (敬称略・順不同)

西岡靖之 (PSLX)、和田浩一 (PSLX)、松川信也 (日立電線)、山本明人 (光電製作所)、岡宗秀一 (PSLX)、王喜宏 (富士電機システムズ)、川内晟宏 (プロセス経営研究所)、水谷雅宏 (日本ユニシス)、鈴木健司 (三菱電機)、柴尾敏一 (エー・アイ・イー研究社) 杉修 (書記・PSLX)、小林秀行 (PSLX) 12名

配布資料

[1] PPS Part 2: Transaction Messages Working Draft 17, April 20th, 2007

[2] PPS Part 3: Profile Specifications Working Draft 06, April 20th 2007

議事内容

(1) 報告事項など

※前回議事録をもとに会議の確認が行われた

(2) パート2 (トランザクション) 最終ドラフト承認

※議論となる主要な内容についての説明が行われた

※(Part2 p.6)モデルをタイプに修正した

※(Part2 p.13)レベル 2 実装について、パート 2 に入れるのであれば説明が必要であるとの意見が出され検討された

・条件を仕様に加えることにより問題がないとの意見が出された

※(Part2 p.14)子のオブジェクトを追加した場合、親を Change しても良いのではないかとの意見が出された

※(Part2 p.19)Condition 要素がある場合は 0、ない場合に 1 としてくださいというのは、実装においてトラブルの発生を招くとの意見が出された

・Condition 要素と multi 属性を同時に書くと Condition 要素の意味をなさないとの意見が出された

・議論の結果、省略値を 1 のみとすることに決定した

※(Part2 p.19) 5.7 Catalog 要素はパート 3 と重複するためすべて削除した

※(Part2 p.29)トランザクションにおいて、例 7-3 と例 7-4 のメッセージが対応していないとの意見があり、【例 7-4】の例 7-2 から例 7-3 へ修正された

※(Part2 p.30)100 個オーダーがあった場合に 99 個で生産を打ち切るときの同期化処理の設定が現場の人には理解ができないとの意見があった

・同期処理を情報の所有者の側から終了する場合には、空のメッセージを送ることになった。

しかし、所有者側からの変更はできるがオーナーは変更できない

・すべてのメッセージを表示する機能はないのかという意見があった。

※(Part2 p.31)説明文の over か under の意味に対し、max, min の記述は誤解を生むのではないかという意見があった

※(Part2 p.31)ワイルドカードの書式は参照しなくてもよいのかとの意見があった

(3) パート3 (プロフィール) 最終ドラフト承認

※(Part3 p.6)共通の中にドキュメントは含まれているのかとの意見があり、共通と拡張のドキュメントの扱いについての議論があった

- ・共通プロフィールに標準プロフィール含まれているのかとの意見があった
- ・標準プロフィールという表現は誤解を招く可能性があるため、pps 標準プロフィールにしたかどうかとの意見があった
- ・パート2 とパート3 の標準プロフィールの違いが誤解を招くため検討することとなった
- ・プロフィールに共通という用語は必要なのかとう意見があった
- ・標準の位置づけについて表などではっきりさせるべきだとの意見があった

※(Part3 p.17)Companion Standard Profile という標準化の世界で一般的な概念で示したほうが良いとの意見があった

(4) APS サミットでの実装セミナーの具体化

※PSLX サーバーを Linux ベースで作る、web サービス、メッセージキューなどのサンプルを作り、APS サミットで発表する

(5) その他

次回予定

2007年5月21日 (月) 10:00～ 第6回 PSLX 技術委員会会議

2007年6月25日 (月) 13:00～ 第6回 アドホック会議(PPS ジョイント)

以上